

平成 29 年度新宿区外部評価委員会第 3 部会 第 6 回会議概要

<開催日>

平成 29 年 8 月 10 日（木）

<場所>

本庁舎 6 階 第 3 委員会室

<出席者>

外部評価委員（5 名）

名和田部会長、小池委員、小菅委員、林委員、安井委員

事務局（3 名）

宮端行政管理課長、池田主査、原田主任

<開会>

【部会長】

ただいまより、第6回新宿区外部評価委員会第3部会を始めます。

本日は評価の取りまとめです。

今まで、ヒアリングを行ってきましたが、ヒアリングを受けて、各委員から出された評価を、部会としての評価にまとめていきます。部会長から指名された委員は、ご自分の意見の補足説明等をお願いします。

では、計画事業102「新宿自治創造研究所の運営による政策形成能力の向上」についてです。

この事業は評価が分かれていますので、「適当でない」と評価した委員から評価した理由について説明をお願いします。

【委員】

「適切な目標設定」について、区として長期的な視点に立った目標設定が必要ではないかと考えます。区が直面している課題を解決するような方向性が必要ではないかと思えます。

【部会長】

目標設定については、ヒアリングのときに、平成28年度から変更した目標設定の説明がありました。改善の方向にあるので「適当である」としましたが、更に検討してほしいという思いはあります。ただ、新宿自治創造研究所の人員からすると、事業内容も制約されるかと思えます。新宿自治創造研究所が行っている人口推計等が、さまざまな課題や問題を政策的に考えていく際に、全てに共通する基本的なデータとなるという説明をより丁寧にする必要があると感じています。

ほかにご意見いかがですか。

【委員】

同じ意見になるのですが、新宿自治創造研究所の立ち位置が気になります。研究所として統計データを集めて研究するだけでなく、より積極的な区民への関わりが必要ではないかと思えます。

【委員】

先程の意見にもありましたが、区が直面する課題というものは何なのかということがもう少し具体的にわかるといいかと思えます。

【委員】

新宿自治創造研究所ですが、何を研究しているのかということが、今ひとつよくわかりません。

【部会長】

やはり、皆さんが思われている問題点は、様々な政策課題に共通する基礎的なデータを提供しているというアピールが十分見えないという点ですね。そのため、何を研究しているかわからないというところに問題があると思います。その上で、どのような評価にしましょうか。

【委員】

新宿自治創造研究所がどのような研究をしていて、それがどのように活用されているのかということを区民にわかるように説明されていないと思います。そのことを前面に出して評価するのがいいのではないのでしょうか。

【委員】

「効果的・効率的な視点」で「適当でない」という評価をしました。区民の視点からの課題を捉えていない点、また、具体的、有効的な政策提言がなされていないという点から、そのような評価をしました。実際の事業や施策は各所管課が実施しますが、新宿自治創造研究所として区の課題をきちんと捉えていない感じがします。

【部会長】

委員からいろいろご発言いただきましたが、やはり「効果的・効率的な視点」についてですね。新宿自治創造研究所の役割が区民に対し十分に説明されていないということかと思えます。どの部署も政策を立案するときに使えるような、基礎的なデータを提供していることはうかがい知れますが、そのような役割を持った研究所であるということや、実際にそういう基礎的なデータがどのように使われたかという説明が、十分ではないということですね。

評価についてですが、「適切な目標設定」については、目標設定は改善されているので、「適当である」とした上で、今後も更なる改善を期待するという意見を付すということでもよろしいでしょうか。

また、「効果的・効率的な視点」については、新宿自治創造研究所の役割などの基本的な点が分かりづらいという意見を取り入れて、「適当でない」という評価にしましょう。

「総合評価」は、新宿自治創造研究所がかなり高度な成果を上げていることは認められるので、「適当である」としてまとめていくということでもよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業101「区民の視点に立ち自治の実現に努める職員の育成」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、このまま各委員の意見をまとめていくという形よろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業65「新宿フリーWi-Fiの整備等」についてです。

この事業は評価が一致しています。どなたも全て「適当である」としており、意見も一致しています。なにか補足はありますか。

【委員】

内部評価シートからは、訪日外国人観光客を対象とした事業のように読み取れてしまいます。所管課とのヒアリングの際に、広く国内の来街者についても対象としているとの説明がありましたが、その点についても、より丁寧な説明、記載があるといいと思います。

【部会長】

国内の来街者の利便性についても向上するわけですからね。訪日外国人観光客以外の方にとっても利益となる事業であるということですね。

【委員】

新宿フリーWi-Fiへの接続数については、新宿区はブランド力もあるので、他自治体と比べても圧倒的に多いところを目指していかなくては、もったいないような気がします。

【部会長】

ありがとうございます。

では、評価のまとめ方についてですが、すべて「適当である」とした上で、今いただいたご意見は「その他意見」として意見を付しましょう。それ以外の意見については、このまま各委員の意見をまとめていくということよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業84「漱石山房記念館の整備」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、このまま意見をまとめていくという形よろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業86「文化の創造と発信」です。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、このまま意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業78「観光と一体となった産業の創造・連携・発信」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

まず、私の意見の補足です。「適切な目標設定」について「適当である」と評価しましたが、目標設定の中にアウトカム指標がないため、その点について、更に工夫できるのではないかと感じました。

そのほかに特に補足がなければ、意見の不一致もないようなので、このまま意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業79「高田馬場創業支援センターによる事業の推進」についてです。

この事業は評価が一致しています。どなたも全て「適当である」としており、意見も一致しています。なにか補足はありますか。

【委員】

今後は経常事業化することですが、その後も施設利用者の増加を図っていただきたいと思います。

【委員】

創業支援だけではなく、やはり創業後のフォローも重要であると考えます。利用者の満足度も高い事業ですので、アンケート調査を更に工夫していくなど、更なる事業の向上を図っていただければと思います。

【部会長】

経常事業化後も期待したい事業ですね。

では、評価のまとめ方についてですが、今のご意見は「総合評価」の中で意見を付しましょう。それ以外の意見についてはこのまままとめていくということよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

次は、計画事業80「にぎわいと魅力あふれる商店街支援」についてです。

この事業は評価が一致しています。どなたも全て「適当である」としており、意見も一致しています。なにか補足はありますか。

【委員】

「目的（目標水準）の達成度」について、「達成度が低い」という内部評価に対して「適当である」と考えます。「達成度が低い」とした理由として、商店街自体の組織力の低下があるのではないのでしょうか。商店街が連携して何かをするという文化があまりにも希薄になってき

てしまっているような気がします。

【部会長】

やはり、商店街の活性化ということについては、行政だけでできるものではなく、当事者の商店主と協働していく必要があるということですね。その意味では、「協働の視点による評価」欄に、今の意見を記載してもいいかもしれません。

ほかに意見等ありますか。

【委員】

私の住んでいる地域にも商店街がありますが、そこはあまり活気のある商店街ではありません。しかし、別の地域には、とてもにぎわっている商店街もあります。それぞれの商店街によって現状や課題も違うのではないのでしょうか。商店街とひとくくりにして支援するのではなく、それぞれの商店街の課題を解決していけるような支援が必要ではないかと思います。

【部会長】

確かに、地域住民の視点から商店街を考えたときに、その通りだと思います。

地域住民から見た意見ということで、「その他意見」に意見を付しましょう。

【委員】

やはり、商店街は地域コミュニティを支えていくために非常に重要な主体であると思います。そのような認識が、区民や関係者、商店主等の中で希薄になっているのではないのでしょうか。商店街の活性化のために、町会・自治会や大学、他団体等と連携、協働して活動していくということも必要ではないかと思います。

【委員】

協働という観点から考えても、各主体との連携は重要だと思います。

【部会長】

ありがとうございます。

では、今出たご意見を中心にまとめていくということでよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

それでは、本日はこれで閉会とします。ありがとうございました。

<閉会>